

## 4月25日 エクアドル沿岸の地震

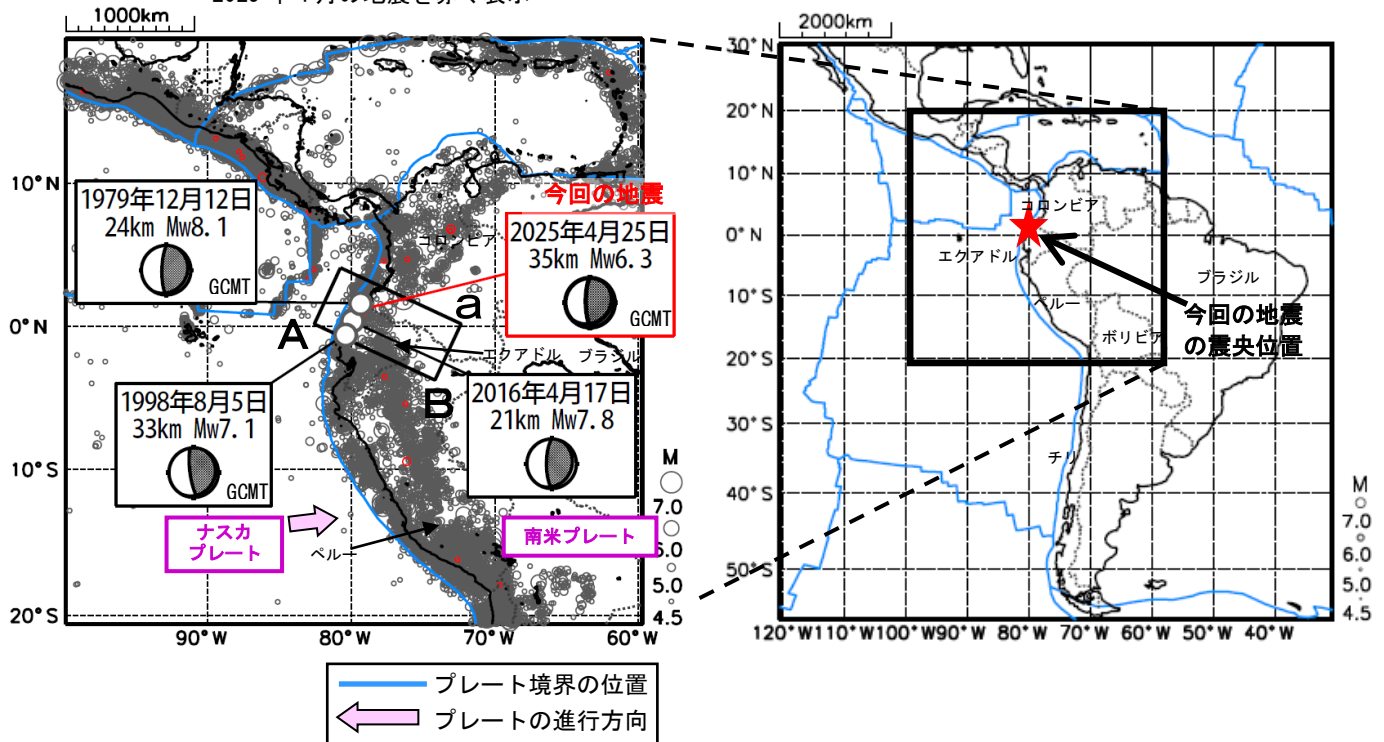
2025年4月25日20時44分（日本時間、以下同じ）にエクアドル沿岸の深さ35kmでMw6.3の地震（MwはGlobal CMTによるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（Global CMTによる）は、東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により負傷者49人などの被害が生じた。また、エクアドルのエスメラルダスで0.42mの津波を観測した。

1970年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M6.0以上の地震がしばしば発生しており、M7.0以上の地震も過去3回発生している。このうち1979年12月12日に発生したMw8.1の地震（MwはGlobal CMTによるモーメントマグニチュード）では、死者600人などの被害が生じた。この地震により、コロンビアのサン・ファン・デ・ラ・コスタで6mの津波を観測した。また、2016年4月17日に発生したMw7.8の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）では死者669人などの被害が生じた。この地震により、エクアドルのバイア・デ・カラケスでは0.6mの津波を観測した。

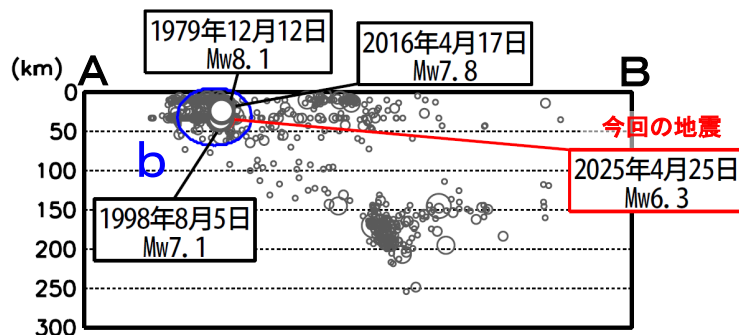
震央分布図

（1970年1月1日～2025年4月30日、深さ0～300km、 $M \geq 4.5$ ）

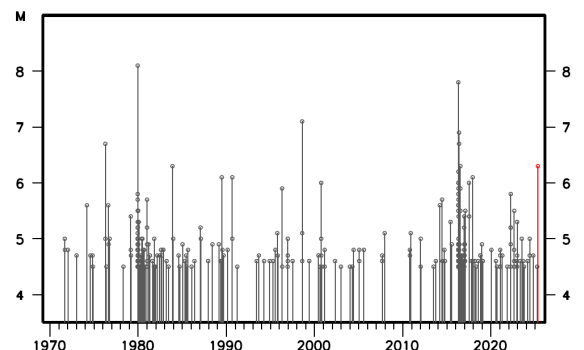
2025年4月の地震を赤く表示



領域a内の断面図（A－B投影）



領域b内のM－T図



※震源要素は米国地質調査所（USGS）による。また、2016年4月17日の地震の発震機構とMwは気象庁、その他の地震の発震機構とMwはGlobal CMTによる。津波の高さは米国海洋大気庁（NOAA）による（2025年4月30日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）\*より引用。今回の地震の被害は、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）による（2025年4月30日現在）。その他の地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.